

教科	工業（電気電子）	科目	工業技術基礎	単位数	3
履修学年	1学年	使用教科書 副教材など	工業技術基礎（実教出版） 第二種電気工事士筆記試験 受験テキスト（電気書院）	履修年度	令和2年度
科目の目標	工業に関する基礎的技術を実験、実習によって体験させ、各分野における技術への興味、関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、工業の関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。				

評価基準	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
	・授業態度が普通で、レポート・ノートをしっかりまとめている。 ・工業技術基礎に関する関心・意欲をもっている。	・工業技術基礎に関する実習などを的確にこなし、考察できる。 ・内容をレポートやグラフで表現し整理できる。	・各種の実験実習を通して、的確に測定し整理できる技能を習得している。	・工業技術基礎に関する基本的な用語を覚えている。 ・様々な回路の動作について理解している。
評価方法	授業中の観察、レポート・ノート・プリント	定期考査、プリント	授業中の観察、ノート 定期考査	定期考査
	工業技術基礎に対する興味関心、意欲等をレポートやノート、その他の課題の提出により判断します。課題プリントの進行状況、整理の仕方などを参考にします。以上のことを踏まえ、定期考査の結果と併せて、総合的に評価します。			

		時数	単元	学習内容	評価
1 学 期	4月	36	1 オリエンテーション	工業基礎に関するオリエンテーション	授業中の観察・プリント
	5月		2 テスタの製作	取扱説明 テスタとその基礎知識 テスタの組み立て 測定試験方法について	// // // //
	6月 7月		3 知的財産権	発明創意工夫コンクールに向けてのアイデア創出 J-Platpatによる検索方法	レポートの提出
2 学 期	9月	36	3 電気工事	被覆のはぎ取り 電線の接続 スイッチ・コンセント等への接続 単線図から複線図へに直し方	授業中の観察・プリント // // //
	10月		4 ワープロの基礎 5 ホートストップリッジ 6 オームの法則 7 旋盤・フライス盤の基本操作	wordによる基本操作の習得を行う。 抵抗の測定技術を習得する。 抵抗・電流・電圧の理論と計測器の取り扱い 旋盤・フライス盤の基本操作の習得をする。	授業中の観察・プリント // //
	11月 12月				
3 学 期	1月	18	8 絶縁抵抗・接地抵抗の測定 9 論理回路（1）	絶縁抵抗計・接地抵抗計の原理とその測定技術を習得する。 AND、OR、NOT、NAND、ハーフアッダ、フルアッダの構成、動作を理解する。	// // //
	2月		レポートの提出		

期	3月				
---	----	--	--	--	--